

「温泉やすらぎ」28日再開

昨年大雨で休館「露天風呂 堪能を」

南越前

昨年8月の大雨で被災して休館が続いている南越前町板取の温泉施設「今庄365温泉やすらぎ」が、28日に営業を再開する。

町によると、大雨で国道365号から温泉施設への進入路が崩壊。電柱や地中の高圧電線などが損傷し、温泉施設への送電が不能になった。温泉施設も排水設備などに被害を受けた。送電線補修や進入路舗装が完成し、温泉施設の排水設備も修繕。進入路のり面は現在も工事中だが、片側交互通行で対応できることから営業再開のめどが立った。

やすらぎは、露天風呂から白山が望める施設として1993(平成5)年、旧今庄町が開設。ゆったりと広いサウナ、宴会や休憩に使える大広間などがある。支配人の森亮一さんは「再開を待ち望む多くの声

をいただいていた。自慢の露天風呂を堪能してほしい」と話していた。

入館料は中学生以上600円。営業時間は正午から

午後8時半。火曜定休。28、29の両日は先着150人に、やすらぎロゴ入りタ

県ビルメンテナンス協 清掃奉仕

(藤井雄次)



▲28日に再開する温泉施設「今庄365温泉やすらぎ」を訪れる入浴客らに気持ち良く過ごしてもらおうと、県ビルメンテナンス協会(福井市)は4日、施設の清掃奉仕に助んだ。会員企業21社から25人が参加し、掃除機を使ってじゅうたんの清掃に励む会員たち(南越前町の今庄365温泉やすらぎで)

し、窓や床、ソファをアロの技で磨き上げた。協会は県内のビルクリーニングや設備管理会社など28社が加盟。建築物の衛生的環境を確保しようとする毎

年に、公共施設などで清掃奉仕に取り組んでいる。

会員たちは専門の機械や道具を持ち込み、窓ガラス、床のじゅうたん、ロビーのソファを分担。プロの手際の良さで見違えるほど奇麗にしていた。

協会の広瀬充会長は「徹底的にするのがわれわれの仕事。奇麗な施設でお客様を迎えてほしい」と話していた。

(藤井雄次)

ふくい地域

北から南から